



# 月刊 織本

2019年4月1日 vol.296

発行 医療法人財団 織本病院  
印刷 〒204-0002  
東京都清瀬市旭が丘1-261  
TEL 042-491-2121  
URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木由利



シュンラン

## 腎臓病と栄養・代謝・食事フォーラム 2019

### 「腎不全患者の元気な日常」

～織本病院の腎不全外来に  
7年間通院している患者の症例から学んだこと～



理事長 高木由利

急に桜のつぼみが膨らみ始めました。日本列島がピンク色に染まる季節の到来です。

\* \* \*

3月23日(土)、日経ホールで“腎臓病と栄養・代謝・食事フォーラム 2019”が開かれ、当院の山崎紗也加管理栄養士が“「腎不全患者の元気な日常」～織本病院の腎不全外来に7年間通院している患者の症例から学んだこと～”というテーマで発表しました。この発表は私の腎不全外来に7年間通院されている方のことで、日々の生活で色々悩み、考え、より良いものを求め続け、“腎不全患者の元気な日常”という日記を書き続けている方です。ひとくちに7年間というと簡単そうですが、生

まれた赤ちゃんが小学校1年生になる年月だと考えると大変な期間であることが想像できます。

腎不全外来では毎月1回、外来で栄養指導を行います。そして時には教育入院を10日から14日間することもあるため、腎不全外来の患者さん達は1年間に最低12回、多いと20回を超える栄養指導を受けることになります。それが7年間ですから、100回以上の栄養指導が繰り返され、変な言い方ですが、一人前の立派な腎不全患者さんに成長するのです。またご家族が同席されることも多いので、この繰り返し行われる栄養指導によって患者さんご本人だけでなくご家族も一緒に成長されるのだと思います。私はこの腎不全外来の指導は、私達にとっては当然のことと考えていました。しかし、今回の研究会で感じたことは、コツコツと何年間もかけて地道に行われている当院の指導は、当たり前ではなく“稀なこと”だと実感しました。しかし、考えてみてください。今までの食生活を全く新しく作り変え、ちょっと気取った言い方をすれば“創造的な食事を目指す”ためには、月1回の定期的な栄養指導でも足りないと私は考えています。更に栄養指導だけでは不充分であるため、腎不全教育指導員による2時間に亘る個人指導、そして調理実習。これでもか、これでもかと繰り返される細か



い指導があればこそ7年間も透析導入を先延ばしにし、腎不全外来に通院することができるのです。

日本の腎不全医療の第一人者、故 出浦照國先生が生前、口癖のように仰っていた言葉はこれでした。“50回栄養指導をしてその人が腎不全食を理解できなくても諦めてはいけない。51回目を期待しない。決して指導をやめてはいけない。”と。

今回の山崎管理栄養士の発表は、決して諦めることなく様々な方法を考えて患者さんと共に語り合ってきた報告でした。そして嬉しいことは、成長されたのは患者さんとご家族だけでなく、山崎管理栄養士を含めた栄養科全員が成長していることなのです。織本病院栄養科の今後を是非期待してください。

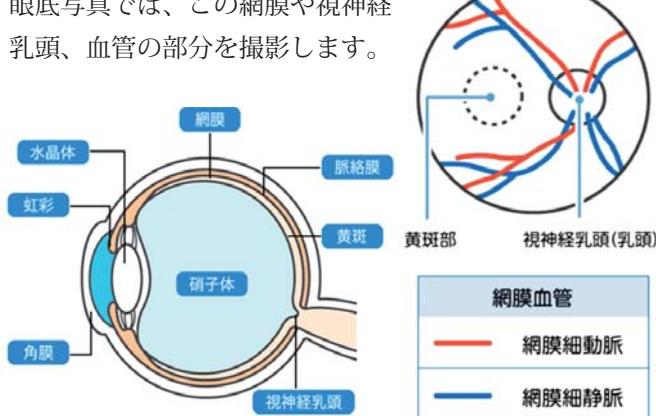
## 第208回 腎疾患・糖尿病ゼミナールより

# 眼底検査について

臨床検査科 市川 麻衣子



眼底とは眼球の内側の部分で、そこには光や色を感じる網膜や、網膜が感じた情報を脳に送る視神経乳頭、網膜に栄養を与える血管などがあります。眼底の中心部は黄斑と呼ばれ、視力を担う大切な部分です。網膜の血管は身体の中で唯一、直接見ることができる血管で、細動脈と細静脈に分かれています。眼底写真では、この網膜や視神経乳頭、血管の部分を撮影します。

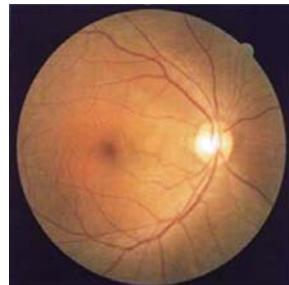
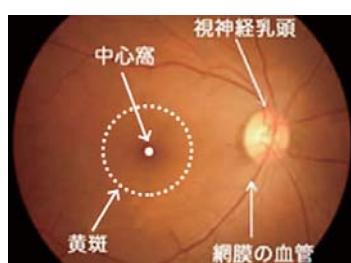


眼底検査は瞳孔を通じて眼球内部を撮影し、視神経、網膜、血管などの構造を詳しく観察します。この検査は多くの疾患を早期に発見することができます。

### 【眼底検査でわからること】

- ・網膜など眼の病気 ⇒ 眼底出血、黄斑変性などの発見
- ・高血圧性の動脈硬化 ⇒ 高血圧の病期判定、血圧管理
- ・糖尿病による血管の病変
  - ⇒ 糖尿病性網膜症の評価、血糖コントロール
- ・緑内障のスクリーニング検査

右上の写真が実際の眼底写真です。最も目立つ部分は網膜の血管と視神経乳頭です。血管の壁は透明なため、



正常の眼底写真

写真で見ているのは血流そのもので、視神経乳頭の中央から大きく4つに分かれています。動脈硬化、糖尿病などで起こる全身の血管変化がここに現れます。視神経乳頭は脳と繋がっている視神経の端の部分で、やや縦長楕円形で淡黄色です。脳の病気や、目の病気で変化が現れます。

右の眼底写真は、糖尿病網膜症です。正常な眼底像に比べて、網膜血管の状態や出血の有無を見ることによって、病気の状態を見ることができます。糖尿病の合併症である糖尿病性網膜症を、視力低下などの自覚症状が出る前に発見することができます。



糖尿病性網膜症の眼底写真

眼底写真は、照明を消した部屋で眼底カメラを用いて撮影します。赤外線モニターで観察しながら撮影位置を定めて、焦点を調節します。当院の検査は散瞳剤を使用せずに撮影ができるため、散瞳剤の点眼による緑内障発作の誘発などの危険がなく、検査の後の運転制限も必要ありません。

## 【撮影方法】

- ・メガネやコンタクトレンズを外す。
- ・マスクも外す。
- ・顎が浮き上がることなく、しっかり額当てに付ける。
- ・無理のない姿勢で肩の力を抜く。
- ・両眼はしっかりと開いて画面の中の×印を凝視する。

検査を受けられる際には適切な写真を撮影するため、以上の注意点を守って頂くよう御協力をお願い致します。

前述しましたが、眼底検査は、人体で唯一血管の状態を肉眼で見ることができる検査です。動脈硬化や血管が細くなっている変化があると、全身の血管にも同じような変化があると言えます。万が一それらの変化があった場合は、必要な精査や治療、生活改善により脳梗塞や心



こちらが実際の×印です。  
撮影時には、この×印だけ  
見ていて下さい。



筋梗塞の予防に繋げることもできますので、積極的に眼底検査を受けることをお勧めします。気になる方は受診の際、医師またはスタッフにご相談ください。

## 電子カルテ・透析管理システム 見学会から感じたこと

施設管理課 システム担当 主任 岡本 隆史



昨年2月に電子カルテを導入し、約1年が経過しました。当初は電子カルテの操作に不慣れなため戸惑いもありましたが、最近は操作方法も徐々に浸透してきたと感じています。

先月、千葉県にあるA病院様から当院の電子カルテと透析管理システムの見学のご要望がありました。こちらの施設は透析医療を行っており、今後電子カルテを導入予定とのことで、ちょうど1年前、電子カルテの選定に色々と悩んでいた当院と同じような状況でした。

3月中旬、院長先生・副院長先生・事務長・透析技士長など6名の方々が来院されました。見学の中心である電子カルテと連携する透析管理システムを、透析センター木村技士長を中心に業務の流れに沿って説明させていただきました。日々のシステムへの記録・参照方法から個人用透析装置とのデータ送信内容などの専門的な事柄まで、活発な質疑応答がありました。

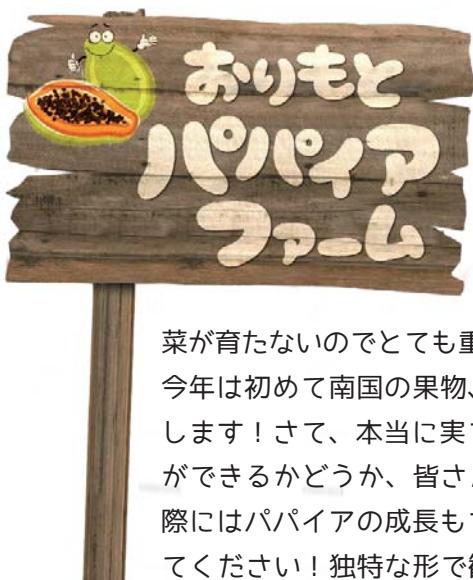
その後、オリモトホールなど当院施設の案内・説明を行いました。講演会やコンサートなど種々のイベントや美味しい治療食作りへの努力など、職員自らが創意工夫していることに驚かれておりました。

当院の電子カルテにもまだまだ見直すべき点があります。そのために自ら知恵を絞るのはもちろんですが、他

の病院の方々との病院間での情報交換を通じて、様々な点が改善できると思います。今回の見学会を通して、より良い病院業務を行うためには、そのような連携が大切だということを改めて実感しました。また、この積み重ねが当院の理念である「患者様に満足して頂ける医療を実践する」ことに繋がると考えています。

今回当院を見学されたことで、少しでも今後導入されるシステム選定のお役に立てますと嬉しい思います。電子カルテを導入された際には、私も新たな気付きを求めてシステム見学に伺わせていただきたいと思いました。





こんにちは！ おりもとファーム園長の並木です。  
突然ですが、皆さん織本病院に畑があるのをご存じですか？なんと、当院の正面玄関前に小さいけれど2つの畑があります！その小さな畑で私達は、毎年多くの野菜を育てています。今年も野菜を植える準備として、先日土に肥料を蒔きました。土に栄養が充分含まれていないと、うまく野菜が育たないのでとても重要な作業です。  
今年は初めて南国の果物、パパイヤに挑戦します！さて、本当に実を付けさせることができるかどうか、皆さん診療にお越しの際にはパパイヤの成長もちょっと覗いてみてください！独特な形で観葉植物としての魅力も一杯です。私達が畑で作業していたら、気軽にお声かけください♪

こんなにちは！ おりもとファーム園長の並木です。  
突然ですが、皆さん織本病院に畑があるのをご存じですか？なんと、当院の正面玄関前に小さいけれど2つの畑があります！その小さな畑で私達は、毎年多くの野菜を育てています。今年も野菜を植える準備として、先日土に肥料を蒔きました。土に栄養が充分含まれていないと、うまく野



第12回 ザ・ショクインズ

# 春 うらら コンサート

2019  
5.11土

2019年5月11日(土) 開場 15:00 開演 15:30 織本病院 2Fロビー 予約不要・入場無料

## —ゴールデンウィーク 診療体制のお知らせ—

※ 4/30(火)・5/2(木)は休日となります。但し、5/2(木)の皮膚科は休診ですので予めご了承ください。

| 4/27 | 4/28 | 4/29 | 4/30 | 5/1  | 5/2  | 5/3  | 5/4  | 5/5  | 5/6  |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 土    | 日    | 月    | 火    | 水    | 木    | 金    | 土    | 日    | 月    |
| 通常診療 | 救急体制 | 救急体制 | 通常診療 | 救急体制 | 通常診療 | 救急体制 | 救急体制 | 救急体制 | 救急体制 |

## 第210回 腎疾患・糖尿病ゼミナール 三輪 俊博 先生の特別講演会



講師：腎臓専門医・糖尿病専門医  
三輪 俊博 先生

栄養科からのワンポイントアドバイス

“でんぶん麺でサラダそば”

※ 5月の腎疾患・糖尿病ゼミナールはお休みです。

2019年 6月 6日(木)  
午後 1:00 ~ 2:00  
オリモトホール(織本病院 4F)  
予約不要・参加費無料

管理栄養士：小澤 牧子